### ■開発状況一覧表(臨床段階)

<緑内障・高眼圧症領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
タフルプロスト/ チモロールマレイン酸塩	STN1011101 / DE-111A	緑内障・高眼圧症	AGCと共同開発	中国			2022	年12月		
プロスタグランジン	F₂α誘導体及	びβ遮断剤の配合	剤。2014年11月、日	本で発	売。201	5年1月	引以降、	欧州で	で順次系	抢壳。

プロスタグランジンF2α誘導体及びβ遮断剤の配合剤。2014年11月、日本で発売。2015年1月以降、欧州で順次発売。 2016年4月以降、アジアで順次発売。中国で、2022年12月に販売承認を申請。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1 フェー	ズ2 フェ-ズ3	申請	承認	発売
	0711010000			米国					
セペタプロスト	STN1012600 / DE-126	緑内障・高眼圧症	小野薬品工業	日本					
	, 52 120			欧州	(探索的試験	(:)			

FP受容体及びEP3受容体への作動作用(デュアル作動薬)を有する新規メカニズムのプロスタグランジン誘導体の緑内障・高眼圧症治療剤。米国で、2021年12月に追加のフェーズ2試験を終了。日本で、2023年6月にフェーズ3試験を終了。欧州で、フェーズ2試験(探索的試験)を終了。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
- 4	STN1013001		<b>Д 4</b> Г	欧州				2023	年11月	
ラタノプロスト 	/ DE-130A (Catioprost)	緑内障・高眼圧症	自社	アジア						

プロスタグランジンF<sub>2</sub>。誘導体の緑内障・高眼圧症治療用乳化点眼剤。アジアで、2022年3月にフェーズ3試験を終了。欧州で、2023年11月に販売承認を取得。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
444724	CTN1012000			日本						
ネタルスジル メシル酸塩	STN1013900 / AR-13324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	欧州					2023	年2月
	/ AIX 10024			アジア				2023	年1月	

ROCK (Rhoキナーゼ) 阻害剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。日本で、2020年11月からフェーズ 3 試験を実施中。欧州で、販売承認取得しており、2023年2月以降スウェーデンなどで発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。

	一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
Ī	ネタルスジル	STN1014000			欧州					2023	年1月
	メシル酸塩/ ラタノプロスト	/ PG-324	緑内障・高眼圧症	Alcon社	アジア				2023	年1月	

ROCK (Rhoキナーゼ) 阻害剤及びプロスタグランジン $F_{2\alpha}$ 誘導体の配合剤。米国では、Alcon社が開発し販売中。欧州で販売承認を取得しており、2023年1月以降ドイツなどで発売。アジアでは順次販売承認を申請しており、2023年1月以降タイなどで販売承認を取得。

### <角結膜疾患(ドライアイを含む)領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
シクロスポリン	STN1007603	春季カタル	自社	中国				2022	年4月	

免疫抑制作用により、春季カタルの症状を改善する乳化点眼剤。カチオニック製剤技術により組織移行性を高めた製剤。欧州で、2018年10月以降順次発売。アジアで、2019年8月にIkervisの適応拡大として承認を取得以降、順次発売。カナダで、2019年11月に発売。米国で、2022年5月に発売。中国で、2022年4月に販売承認を取得。2023年7月に米国・カナダにおける製造・商業化の独占的権利をHarrow Health, Inc. (米国) へ供与。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
	STN1008903	20- 1- 1	Merck Sharp &	日本					2022	年11月
ジクアホソルナトリウム	/ DE-089C	ドライアイ	Dohme Corp. (米国)	アジア			2023	年3月		

角結膜上皮からムチンや水分の分泌を促すドライアイ治療剤。持続製剤。日本で、2022年11月に発売。アジアでは、韓国で2023年3月に販売承認を申請。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
オロダテロール 塩酸塩	STN1014100	ドライアイ	ベーリンガー インゲルハイム	日本	(フェー	-ズ1/2a)				
β2受容体作動薬。	日本で2023年	1月からフェーズ:	1/2a試験を実施中	1.						

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010904	フックス角膜内皮 ジストロフィ	アクチュアライズ と共同開発	米国 <sup>フランス</sup> インド	(フェー	-ズ2a)				

mTOR阻害作用によりフックス角膜内皮ジストロフィの症状を改善する懸濁点眼剤。2022年5月から米国、フランス、インドでフェーズ2a試験を実施中。(※開発コード(STN1010904)は、フェーズ2試験終了時に当社が独占的実施権を獲得した後に附番予定のコードです。)

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
シロリムス	STN1010905	マイボーム腺 機能不全	自社	日本	(フェー	-ズ2a)				

mTOR阻害作用によりマイボーム腺の機能を改善する懸濁点眼剤。日本で、2022年8月にフェーズ2a試験を終了し、追加のフェーズ2a試験実施を予定。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
エピナスチン塩酸塩	STN1011402	アレルギー性 結膜炎	日本ベーリンガー インゲルハイム	日本			2023	年3月		

ヒスタミンH1受容体拮抗作用とメディエーター遊離抑制作用を併せ持つアレルギー性結膜炎治療剤。眼科用クリーム製剤。日本で、2023年3月に製造販売承認を申請。

# <屈折異常領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
	CTN1010700		Singapore Health	日本	(	フェース	(2/3)			
アトロピン硫酸塩	STN1012700 / DE-127	近視	Services社、	中国	(	フェース	(2/3)			
	/ DL 127		南洋理工大学	アジア						
小児における近視の	進行を抑制で	する非選択的ムスカ	リン受容体拮抗薬。	日本で	、2023 <sup>4</sup>	年10月1	こフェー	-ズ2/	/ 3 試懸	食を終

小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。日本で、2023年10月にフェーズ2/3試験を終了。中国で、2022年6月からフェーズ2/3試験を実施中。アジアで、2020年4月にフェーズ2試験を終了。

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
アトロピン硫酸塩	STN1012701 / SYD-101	近視	Sydnexis社	欧州						
1 1H )	Mr. (-) 16 (full	3 at 11.533 [m // 5 3	22	/ <del>/</del>	- 1		1.1	30 P/ I	11 77 410 1	

小児における近視の進行を抑制する非選択的ムスカリン受容体拮抗薬。導入元であるSydnexis社により欧州及び米国でフェーズ3試験を実施中。当社は、欧州、中東及びアフリカ地域における独占ライセンス権を保有。

	化合物名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
	AFDX0250BS	STN1013400 近	15-78	ベーリンガー	日本	(フェー	-ズ2a)				
			近視	インゲルハイム	中国						

小児における近視の進行を抑制する選択的ムスカリンM2受容体拮抗薬。特定のサブタイプを選択的に阻害するため、 散瞳が抑えられる。日本で、2023年5月にフェーズ2a試験を開始。中国で、2023年8月にフェーズ1試験を開始。

## <その他の領域>

一般名	開発コード	効能・効果	自社/導入等	地域	フェ-ズ1	フェ-ズ2	フェ-ズ3	申請	承認	発売
オキシメタゾリン 塩酸塩	STN1013800	眼瞼下垂	RVL Pharmaceuticals 社	日本						

直接作用型  $\alpha$  アドレナリン受容体作動薬。米国では、RVL Pharmaceuticals社が開発し販売中。日本で、2022年10月からフェーズ 3 試験を実施中。

### ■2023年度第2四半期決算発表時(2023年11月7日)からの変更点

開発コード	変更点				
STN1013001 / DE-130A	欧州で、2023年11月に販売承認を取得。				
STN1013600	フェーズ2a試験データ解析の結果、開発を中止。				

※STN1011700 (DE-117、一般名:オミデネパグ イソプロピル)は、日本、アジアで製品名エイベリスとして販売しています。米国では製品名OMLONTIとして販売承認を取得しており、2023年7月に米国における製造・商業化の独占的権利についてVisiox Pharmaceuticals, Inc. (米国)へ供与しました。